

すみれ乳児院だより90号

2023年10月1日発行

大阪市旭区新森7丁目8-16

発行責任者 施設長 北口 美弥子



「一粒万倍日」最近よく目にする言葉でどのような意味が込められているのか調べてみると暦上、縁起のいい日とあります。この一文字一文字の意味の通りこの日にまいた粃（もみ）は万倍にもなって実ることから、縁起がいい日となるそうです。小さいものが大きく育つという意味も込められていて新しいことを始めるのにぴったりとのこと。よくよく見ると暦の上で前向きになれる縁起のいい日がほかにもあり、「天赦日」（てんしゃにち）、この日は神様が天に昇り天がすべてのものを養い育て罪を許すとされる日や、身近に知っている「大安」（たいあん）全てのことが吉とされカレンダーにも記載されているもの、そのほかにも鬼宿日や巳の日、寅の日などありました。調べれば調べるほど暦、二十四節気、七十二候など奥は深く興味をそそられるものがたくさんあり何事にも縁起のいい日に新しく始めることはいい方向に進むということだそうです。ふと思い返してみるとすみれ乳児院が旭区に新築移転をしてか

ら6年がたちましたが、移転したその日はどんな日だったのでしょうか。新しい地域の中で特に取り組みたい事業として「マタニティーサロン」があります。妊娠期からの見守り、そして出産後の母子支援に繋げていくことができると考えていました。しかし思うように進んでいないのも事実です。予期せぬ妊娠やDVなどで妊娠中からの支援を必要とする「特定妊婦」がこの10年で10倍に増えてきているそうです。社会的に孤立し、未受診での飛び込み出産などの例もあり、社会的養護に関わる私たちだけでなく福祉、医療などの分野が連携して困りごとに寄り添う支援を行うことで命や育ちを守ることにつながります。私たち乳児院の役割はこの妊娠期から繋がる支援をぜひとも実現に向け、日本の暦にあるたくさんの縁起の良い日にちなんで新しいなにかを始めるきっかけになればいいなと思います。

すみれ乳児院副施設長 菅野



子どもたちの様子



今年とはびきり暑い夏でしたが、子どもたちは毎日のように「お散歩に行こう」と元気いっぱい。虫採り網を持って散歩に行った子どもたちが「みてみて」とセミが入った虫かごを大事そうに持って帰ってきました。小さい昆虫にみんな興味津々で、気付けばみんな並んで虫かごの前に寝そべって観察していました。

もう一つ、夏といえば水遊び。去年プール遊びを経験したことのある子はプールの準備をしているのを見ただけで笑顔になり、待ちきれないほど楽しみにしている様子がありました。プール遊びが初めての子はお風呂とはまた違った雰囲気不思議そうな表情をしていましたが、いざ入ってみると泣かずに、お顔に水がかかっても平気で笑顔な子もいたのに驚きました。



7月には納涼交流会を行いました。子どもたちは自分で選んだお気に入りの甚平を着て、髪もかわいく結って参加しました。いつもと違う装いに「おまつり早く行こ！」とウキウキしている姿がありました。夏祭り仕様に飾られた会場には千本引きやすいか割りコーナー、お絵描きコーナーなどがあり、賑やかさに緊張しながらも全て楽しむことができました。保護者の方にも一緒に参加していただき夏祭りを体験してもらうことが出来ました。特に一緒にお絵描きをして子どものかわいい手形でデコレーションしたうちわ作りは好評でした。

少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。ハロウィンやクリスマス、楽しい行事がたくさんある季節です。子どもたちがどんな表情をするか今から楽しみです。



ももいろグループ 藤原



お弁当バイキング



すみれ乳児院では年間通して“食”の楽しい取り組みを行っています。6月は「お弁当バイキング」です。メニューはおにぎりやたこさんウイナー、からあげ、アンパンマンポテト、かまぼこ、ジュースなどなど。子どもたちが自分で好きなものを選んでそれぞれお弁当箱に詰めました。「おにぎりもっとちょうだい！」「たこさんウイナーもっといれて！」と子どもたちもワクワクしながら好きな物を選んでいました。早く食べたくてその場でつまみ食いする子どもたち。「おいしい♪」ととっても嬉しそうで、お弁当をお部屋に持ち帰った後もおかわりしておいしそうに食べていました。コロナ禍が落ち着いてきて少しずつ元の生活に戻ってきましたが、その期間、子どもたちは社会経験があまりできずに成長してきました。外で食べることはまだ難しいですが、このように少しでも楽しい出来事に触れる機会を作っていけたらと良いなと思います。

給食委員 阪田



からあげいっぱい
入れる〜！





すみれ乳児院では月に一回防災訓練行っています。訓練を行う上で大事なことは、自分で歩いて避難することが難しい月齢の子どもが多いなか、いかに安全に避難させるかという事です。その為、子どもたち自身の訓練というより、職員が子どもたちをどうやって安全に避難させていくか、ということが中心となります。今年目標として、「限りある職員数で、できることを、それぞれが考え、皆で訓練に挑み、日常でも意識する」があります。毎月、地震や火事、水害等さまざまなパターンの災害想定で訓練をし、実際の災害の時に落ち着いて避難出来るよう訓練に励んでいます。もちろん子どもたちも訓練の日には職員と一緒に階段を自分で降りてみたり、避難用のすべり台を降りる練習をしたりと一生懸命参加してくれます。



また、年に2回消防署の方に指導していただいたり、防犯訓練として警察署関係の方に不審者役になっていただき防犯指導やさすまた訓練など、地域の行政の方にもすみれ乳児院に関わっていただいています。地域皆で子どもたちを守っていけるようこれからも防災訓練を頑張っていきたいです。

防災委員 清水



さすまた訓練の様子



～さとおやっとなあに？～

こどもは愛情に包まれた家庭で、心身ともに健やかに育つことが望まれています。しかし、虐待や親の病気、経済的理由など様々な事情によって、住み慣れた地域、家族と離れて生活しなければならない子どもたちがいます。こうした子どもたちを自身の家庭に迎え入れ、健やかに育ててくれる方を「里親」と言います。

すみれ乳児院では里親支援専門相談員をおき、里親へのサポートを行っています。里親が困った時に一時的にお預かりする「レスパイトケア」や里親宅への訪問相談、研修や登録前の実習の受け入れを行っています。また里親会と協働し「里親サロン」をすみれ乳児院で開催し、地域の里親の集える場となっています。里親の悩みや今感じていることに耳を傾け、一緒に子どもの養育について考え、里親子が地域で安心して暮らせるように関係機関と協働、協力しながら里親さんに寄り添える乳児院でありたいと思っています。



『里親』に関心のある方は…

里親支援専門相談員 井上

いただきます～す！

かぼちゃのヨーグルトサラダ

材 料

(2人分)

- ・かぼちゃ…150g (1/8 個)
- ・無糖ヨーグルト…大さじ2
- ・マヨネーズ…大さじ1
- ・塩…少々
(お好みで彩りに)
- ・にんじん…30g
- ・ブロッコリー…2～3ヶ

～かぼちゃの甘みと、ヨーグルトの酸味がマッチする秋の冷菜～



作り方

- ①かぼちゃはわたを取り、皮付きのまま3cm角に切っておく。
人参はイチョウ切り、ブロッコリーは一口大の房に分けておく。
- ②かぼちゃをサッと水にくぐらせ、耐熱皿に重ならないように並べる。ふんわりラップをかけて電子レンジ(600W)で4分加熱する。人参とブロッコリーは柔らかくなるまで茹でておく。
- ③分量のヨーグルトとマヨネーズを混ぜ合わせ、ヨーグルトソースを作る。
- ④ ②の野菜が柔らかくなったなら水分を切ってボウルにうつし、③のソースを和え、塩で味を調える。
※かぼちゃが、硬いようならレンジにかける時間を30秒～1分延長してください。
竹串をさしてみ、皮までスッと通ればOK。

給食部 小園



すみれ乳児院HPは
こちらから!!



Instagramはこちらから!
子育てに役立つ情報を写真付きで
分かりやすく載せています!

後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

- *個人会員 1口 3,000円
- *団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2023年度の更新の手続きを直しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、すみれ乳児院(06-6958-6066)まで。

これからの3カ月の行事予定

- 11月 七五三 城東福祉まつり
- 12月 クリスマス会
- 1月 初詣

保護者の方には後日詳しい
日程をお知らせします。



【編集後記】

暑さもやわらぎ、子どもたちと毎日散歩に出かけるのが日課になってきました。これから楽しい行事もたくさん待っているので、体調に気をつけて元気に過ごせればと思います。(成田)

